

(仮称)第5次 紋別市総合計画案に対するパブリックコメント手続の結果

No.	種 別	意 見 内 容	検 討 結 果
1	基本計画 交通体系	<p>バス輸送の充実として、路線バスの充実と高速バスの充実の2項目が登載されているが、高齢化が進行する中、バスでもタクシーでもない「新公共交通体系の推進」として加えることが必要と考えます。</p>	<p>バス輸送の充実については、利便性向上を目指した利用しやすいバス路線の新設、地域実情にあった運行の充実や、高速バスの利便性及び快適性の向上が必要と考えています。</p> <p>また、多様な市民ニーズに対応できるよう「公共交通総合連携事業」として実証実験を行い、新たなシステムの構築を進めることで公共交通の充実を図る予定です。</p> <p>そのため、これら実証実験の結果をもとに、関係機関と協議を進め、新たな公共交通体系の推進を図っていきたいと考えていますので、現時点では原文のとおりとさせていただきます。</p>
2	基本計画 医療① 医療②	<p>「かかりつけ医」の普及や、医療機関相互の機能分担や病診連携などについて記載されており、基本的な方向性は正しいと感じます。</p> <p>しかし、方向性が正しくとも、それをどう実施していかかが重要なのではないのでしょうか。私達市民は、1日でも早く、安心して医療を受けられる体制整備を望んでいます。</p> <p>医師不足が全国的な状況であることは十分承知しているものの、産婦人科医不足により、道立紋別病院での出産が制限されたり、人工透析が出来なくなったり、この数年間で紋別市の医療の状況は悪くなる一方です。全国的なものとは異なるのではなく、紋別市の医療に対する考え方や対応策を明確に示してほしいものです。</p> <p>道立病院の医師不足は大変な問題です。自分が健康な時はあまり意識はしませんが、自分の身近に子どもや高齢者などがいれば大事なことと判るはずで。</p> <p>計画にある地域医療体制の充実や医療従事者の確保などを是非実現できるようにしてください。</p>	<p>地域医療を守るために道立紋別病院の地域センター病院、二次医療拠点機能の維持は不可欠です。</p> <p>しかしながら、全国的な医師の遍在や公的病院の慢性的な財政危機により、病院の集約化などが検討されています。</p> <p>地域医療に関しましては、道立紋別病院が西紋別地域のセンター病院として市民・近隣町村民が安心して医療を受けることができる体制確保が必要と考えています。</p>

No.	種 別	意見内容	検討結果
3	基本構想 市民との協働	大変きめ細かく立案された基本構想に私如き者が意見を提供する余地はありません。この構想が実現された紋別は日本一のユートピアとなるでしょう。行政と市民が一体となって10年後を夢見て努力致しましょう。	総合計画につきましては、まちづくりの理念や方向性を示すもので、行政だけで進められるものではありません。 次代を切り開くのは市民一人ひとりの活力であるため、市民主役の視点に立つことと、市民と行政が協働によるまちづくりを進めることが重要と考えています。
4	基本構想 基本計画 全 般	紋別市も財政が苦しいと思いますが、計画の実行は可能なのでしょうか。夕張市のようになっても困ります。最後に困るのは市民です。財政が破綻しないよう市政運営をしながら計画がきちんと実行されることを望みます。	行財政を取り巻く社会経済情勢が厳しさを増す中、こうした時代の潮流を的確に捉え、本市の進むべき方向性を明確にした長期的な展望こそが総合計画の持つ役割と考えています。 そのため、多様化・高度化する市民ニーズに即した的確な行政サービスを提供するために、最も効果的な施策を「選択と集中」により展開していかねばならないと考えています。
5	基本構想 基本計画 全 般	専門用語や略語など、一般的な言葉について、注釈をつけて欲しい。	総合計画は、市民の皆様に理解していただくことが重要です。 そのため、できる限り、わかりやすい表現に努めるとともに、ご指摘のとおり巻末に「用語解説」の掲載を考えています。
6	基本計画 水産業	P8 の 1.安定した生産の推進の(1)資源管理型漁業の推進について、北海道漁連では、秋サケやホタテにおいて認証制度(エコラベル)取得への取り組みが行われていると聞かすが、紋別市の取り組みが書かれていない。 紋別市の総合計画にも記載したほうが良いのではないかと。	認証取得については、関係団体などが一体となった取り組みが不可欠であることから、ご意見を踏まえ、認証取得の促進について記載したいと考えています。

No.	種 別	意 見 内 容	検 討 結 果
7	基本計画 商業・地場産業	<p>P13の中心市街地の活性化について、今の商店街では買いたい物も買えません。お店がありません。中心市街地の活性化＝中心商店街・商業の活性化とも言える中で、大切なことは、まず商業者の意欲とそれに賛同する関係者の努力が必要であり、安易に中心商店街の街並みをきれいにするのが活性化に繋がるものではないということです。</p> <p>そこで商売をしようとする人達の描くビジョンが大切だと思います。将来に向け、この計画にある賑わいの再生やまちづくりリーダーの育成が、まず取り組んでいくべきことと思います。</p>	<p>産業構造の変化とともに市街地の商業空洞化の進行が全国的な課題となっています。</p> <p>本市の中心市街地についても、空地・空き店舗が点在し、まちなかの価値が低下しています。</p> <p>そのため、市民、商業者、行政など関係機関が連携し検討を進めることが重要であり、まちづくりリーダーの養成のほか、空地空き店舗の有効活用、市民の来街意欲を高める取組みの促進など、賑わい再生を念頭においた展開が必要と考えています。</p>